

## 令和 2 年度 事業計画

### 1 調査研究事業

#### (1) 台風来襲時における避泊船舶の安全確保に関する調査研究【補助事業】

##### ① 事業概要

令和元年度には、大型台風が立て続けに来襲し、日本各地に大きな被害をもたらした。船舶海難に目を向けてみると、令和元年9月の台風15号により東京湾では、走錨に起因する4件の衝突事故が発生。新聞報道によると、「海上保安庁では、令和元年9月の台風15号への対応として、不測の事態に備え、巡視船艇や航空機の即応体制を強化したほか、羽田空港や東京湾アクアラインなどの周辺海域で船舶の錨泊禁止、走錨対策に係る勧告を出したが、走錨が原因とみられる海難事故が4件発生した。原因について調査中である。」としている。

当協会では、令和元年度の事業として、平成30年9月の台風18号による走錨船の関西国際空港連絡橋への衝突事故、伊勢湾・三河湾における台風来襲時の船舶避泊の実態を踏まえ、避泊船舶の安全確保並びに大規模重要施設への走錨に起因する衝突事故の防止を図るため、「伊勢湾・三河湾における台風避泊に関する調査研究(以下「令和元年度事業」という。)を行い、中部国際空港の周辺海域における荒天時の錨泊自粛、海上交通センターによる走錨監視及び情報提供強化並びに、台風避泊サポートマップについて検討し、リーフレット等により周知に努めているところである。

当地方では、令和元年度に日本に来襲した台風の直撃的な影響はなく、東京湾のような海難事故は発生していないが、今後、当地方に台風が来襲し、船舶交通に混乱を来すことは、予想に難くなく、船舶海難の発生を誘発する可能性も否定できない。

よって、令和元年度事業で検討した各種対策を検証するとともに、東京湾で発生した走錨に起因する衝突事故を参考事例として、台風来襲時における避泊船舶の安全確保を主眼とした対策のフォローアップを図る。

##### ② 事業計画

第1・四半期	計画準備・事業実施
第2・四半期	事業実施
第3・四半期	資料整理
第4・四半期	資料整理・印刷・公表

### 2 海難防止活動事業【補助事業】

海難防止の周知宣伝

#### (1) 海の事故ゼロキャンペーンの推進(継続事業)

##### ① 事業概要

毎年、海の月間（7/1～7/31）の時期に合せ、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、官民の関係者が一体となって「海の事故ゼロキャンペーン」が全国的に展開されており、東海地方においても同キャンペーンを推進してきたところである。同キャンペーンは、平成29年度までの全国海難防止強調運動を継承するものであり、令和2年度も全国的に展開されることから、東海地方においても当協会が主体となり、海難防止思想の普及啓発、海の事故の未然防止の観点から同キャンペーンを積極的に推進する。

また、平成18年度から海霧の発生多発時期に実施している地方海難防止強調運動についても、昨年度から「霧海難ゼロキャンペーン」として実施しており、今年度も継続して推進する。

## ② 事業計画

令和2年4月25日（土）～7月31日（水）までの間

霧海難ゼロキャンペーン

令和2年5月中旬

海難防止強調運動推進東海地方連絡会議作業部会

令和2年6月初旬

海難防止強調運動推進東海地方連絡会議

令和2年7月16日（木）～7月31日（金）までの間

海の事故ゼロキャンペーン

## （2）会報の発行状況（継続事業）

- 会報第133号（令和2年4月）発行予定
- 会報第134号（令和2年10月）発行予定